

過去問ライブラリー 判断推理

国税専門官 1998 論理・確率

問題

閉店後の洋菓子店で、売れ残った3種類の商品（シュークリーム、タルト、チーズケーキの各一つ）を店員A～Dの4人が分けて持ち帰ることとなった。A～Dは、それぞれ商品の一つだけ選んで希望を出し、その希望が他の誰とも重ならなかった場合に、その商品を持ち帰ることができる。

そこで、4人は、自分以外の3人の希望について次のように予測し、自分の希望がかなう可能性のある商品を選ぶこととした。

- Aは、「他の3人はみなシュークリームを選ぶ」と予測した。
- Bは、「Cはチーズケーキを選ぶ」と予測した。
- Cは、「Dはタルトを選ぶ」と予測した。
- Dは、「AかBのうち1人のみがチーズケーキを選ぶ」と予測した。

4人が同時に希望を出したところ、上記四つの予測はどれも外れていた。このとき、A～Dが行った選択について、確実にいえるのはどれか。

1. チーズケーキを選んだのは1人だった。
2. タルトを選んだのは2人だった。
3. Aが選んだ商品は確定できない。
4. BとCは同じ商品を選んだ。
5. CとDは異なる商品を選んだ。

解説

A～Dと希望した商品について、対応表を作成します。

Aは、他の3人はみなシュークリームを選ぶと予想したので、**シュークリームを選んでいません**。

同様に、**Bはチーズケーキを、Cはタルトを、Dはチーズケーキを選んでいないので、それぞれ×を記入します**。

また、予想はいずれも外れていたなので、**Cはチーズケーキを選んでおらず、Dはタルトを選んでいません**。

ここまでで、表1を得ます。

表1

	シュー	タルト	チーズ
A	×		
B			×
C		×	×
D		×	×

表1より、**C、Dが希望したのはいずれもシュークリームとわかりますが、ここで、Bもまた、シュークリームを選ぶと、Aの予想が当たったこととなりますので、Bはシュークリームではなく、タルトを選んだこととなります**。

また、Aがチーズケーキを選ぶと、Dの予想が当たってしまいますので、**Aはチーズケーキではなく、タルトを選んだとわかり、表2のように決まります**。

表2

	シュー	タルト	チーズ
A	×	○	×
B	×	○	×
C	○	×	×
D	○	×	×

以上より、正解は肢2です。